

今のまちを残したい
・坂本龍馬とよさこいとカツオを残したい

住みやすいまちにしたい
・託児所や高齢者施設が両方入っているような複合施設を整備したい
・誰でも利用できる休憩所を作りたい
・子どもが安全に遊べる場所を整備したい
・公共交通機関をもっと充実させたい（電車とバス）

にぎわいのあるまちにしたい
・観光面をもっとPRしたい
・五台山までの移動手段を整備したい
・観光地を点ではなく線で結び、その移動自体も楽しめるような交通網を整備したい（はとバスツアーのように）
・五台山までのロープウェイを復活させたい

公園を残したい・増やしたい
・公園を増やしたい

■お知らせ

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。

(回答はこちらから↓)



■お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
TEL : 088-823-9055
FAX : 088-823-9085
Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.1

R 8. 5. 14

中央地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ (はりまや地区) を 開催しました!

地域の方
11名参加

ワーク1は2ページ、ワーク2は3ページ、ワーク3は4ページに表示しております

●ワークショップの内容 (予定)

第1回 R8.4.14 開催

- ・地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- ・復興パターン2案について
- ・楽しくなるような未来のまちについて



第2回 令和8年8月頃 開催予定

- ・目指すべき姿(案)について
- ・修正復興パターンについて
- ・速やかに復興するために必要なことについて



第3回 令和8年11月頃 開催予定

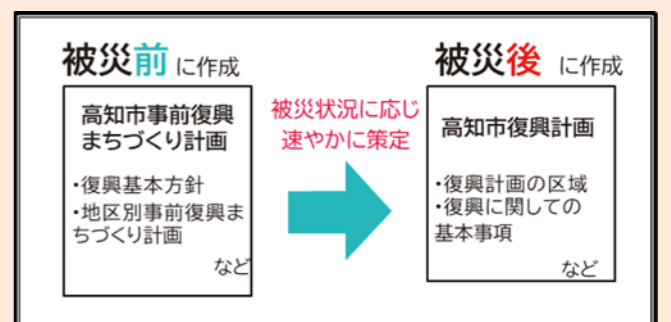
- ・修正復興パターン(最終案)について
- ・災害が起きる前からできることについて

4月14日(火)、高知市文化プラザかるぼーにて、中央地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップを開催しました。ワーク1では「地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること」、ワーク2では「復興パターンについて」、ワーク3では「地区で住み続けたいくなるような楽しい未来の姿」について、みんなが話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは?
南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

- ① 早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める
- ② 適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③ 人口流出の抑制につながる



ワーク1 中央地区の良いところ・残したいもの、困っていることについて

●暮らし



良いところ・残したいもの

- ・おしゃれな雑貨店が増えた
- ・堀川の景観を残したい
- ・中心街から近い
- ・商業施設が多く、買い物に困らない

困っていること

- ・近くにスーパーが無い
- ・コロナ以降に神社の祭りや区民運動会が少なくなった
- ・空き家になった古い家屋がある（桜井町、南宝永町、南はりまや町）

●地域



良いところ・残したいもの

- ・マンション単位で繋がりが強い

困っていること

- ・高齢化による担い手不足
- ・マンションが増えて、地域の繋がりが薄くなった
- ・町内会の活動が無い
- ・人口減少が進んでいる（南はりまや町）

●公共交通



良いところ・残したいもの

- ・電車通りまで近くて便利である
- ・交通の便が良い

困っていること

- ・電車通りと南街を繋ぐ公共交通機関がない

●公共施設

良いところ・残したいもの

- ・横堀公園が綺麗になり、人が集まるようになった
- ・弥右衛門公園を残したい



困っていること

- ・公民館が少ない
- ・公園利用のマナーが悪いため、対策が必要

●災害



良いところ・残したいもの

- ・マンション単位で防災訓練がある

ワーク2 復興パターンについて

【第1案】二線堤形成案



いいね！

- ・街全体を津波から守ることができるため、第1案の方が良い

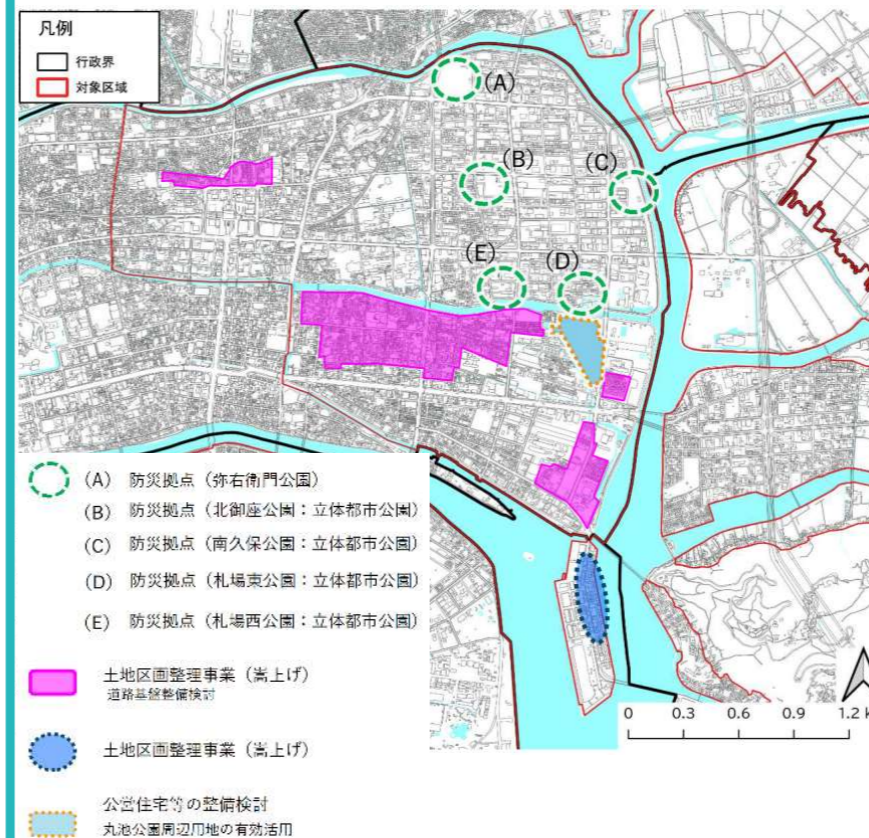
ちょっと心配…

- ・二線堤を整備することで、洪水時に排水できなくなるのではないか
- ・線堤の高さがどれくらいになるのか気になる

1案と2案の共通意見について

- ・復興期間をできるだけ短くしたい
- ・膨大な費用がかかるため、本当に実現できるのか心配である
- ・空き家の法整備が必要だと思う
- ・液状化によって、移転が必要になる地区も出てくるのではないか
- ・土地の権利者が多いため、復興の際に手間になることが心配である
- ・土地の地積測量を事前に行っておきたい
- ・復興パターンに選択肢があることを全員が把握する必要がある

【第2案】防災拠点形成案



いいね！

- ・2案が現実的ではないか

ちょっと心配…

- ・防災拠点の実現が可能なのか
- ・事業に参加する民間企業がいるのか



(防災拠点イメージ)